

農業協同組合 経営実務

第18巻 総目次

〔農協時評〕 柴田 周蔵

15周年を迎えた農協	1
稲作団地のめざすもの	1
38年産ビール麦の取扱	1
農協のことしの三つの課題	2
台頭する員外利用規制の動き	2
農協労働攻勢の限界	2
農業構造改善資金生まれる	3
農家の住宅改修資金を貸出す	3
農畜産物の流通合理化	3
営農団地と構造改善	4
農協事業の規制は削除	4
単協の貯金27億円	4
制度金融花ざかり	5
建物共済の一元化するか	5
1万1千名の組合員を擁する農協	5
流通対策と農協の役割	6
合併にとりくむ総合審議会	6
もち米と外米と米価	6
麦価は小幅・米価は大幅値上げか	7
契約栽培から垂直的統合へ	7
農協役員の管理講習	7
「食管」に手がつくか	8
共通役員制のゆくえ	8
やっぱり安い農協給与	8
農業革命と農協合併	9
耕耘機から四輪車へ	9

麦作の災害と将来	9
流通手数料引下げ政策の波紋	10
ますます拡大する所得格差	10
デラックス農協と茶店組合	10
農協の人事管理とJ・S・T	11
肉用牛団地の構想	11
米の需給と史上三番目の豊作	11
豚肉価格の3年周期と乳価	12
農協世論調査の教えるもの	12
米は豊作・麦は凶作	12

〔組合論・経営一般〕

営農団地と農協経営	甲斐 武至	1
都市近郊農協の運営の方向	藤原 清	1
合併農協の新経営理念	辻 誠	1
農協合併の現状と経営規模	水谷 重一	1
共通役員制を巡る諸問題	矢吹 寿	2
高知県農協連における共通役員制	山本 正吉	2
合併農協と地帯の問題	辻 誠	2
農協合併における留意点	市川新太郎	2
変革する農業と農協	三浦 虎六	2
合併農協の経営問題《座談会》		3
農協経営と外務活動	小林 和馬	3
合併農協の新組織関係	辻 誠	3
企業的農業と農協	木下 泰雄	4
単協役員問題への提言	藤沢 宏光	4
「専属営農方式」と農協経営	近藤 整	4
合併農協の新しい事業活動	辻 誠	4
合併農協事業方式の近代化	辻 誠	5
大規模農協の運営の方向	五百蔵 勝	5
合併農協の経営	橋本 久治	5
農協の長期計画	上原 房芳	5
信用組合に転進した農協	松林 義三	6
合併農協の新しい事務関係	辻 誠	6
単協規模拡大に伴う県連整備の新しい方向		
長野県農協連の場合	上原 房芳	7
福岡県農協連の場合	編集部	7
農協合併と系統組織の整備	辻 誠	7
稲作の「団地化」と「構造改善」	甲斐 武至	7
超大型農協の周辺	新井 義雄	8

現地にみる農事組合法人	永島 群訓	8
農林年金の現状と課題	竹原 甲三	8
① 都市近郊農協はどこへ行くか	新井 義雄	9
発足するマンモス農協	編集部	9
単協合併の方針について	全国農協中央会総審事務局	10
② 大規模農協における事業計画の立て方	行友 真市	10
きゆう団地の造成と運営	飯田 康平	10
動き出した農業構造改善事業	吉岡 敏	11
災害融資制度と新しい立法措置	柴田 豊光	11
合併農協の設備革命と集中管理	辻 誠	11
③ 合併農協と県連合会の間	矢吹 寿	12
農協ならびに農協合併を農民はどう考えているか	岩佐 二郎	12
農協法の問題点を探る	農協実務の法律研究会	4~11
最大奉仕原則と非営利原則		4
農協の事業能力		5
信用事業		6~7
共済事業		8
員外利用		9
専属利用契約		10
業種別協同組合法制		11
④ 拡大農協の組織と運営	菅沼 正久	5~12
農協合併の本質		5~7
拡大農協の組織と構成		8~9
⑤ 拡大農協の事業運営		10~12

〔経営管理〕

元帳カード複写による事務改善	小山 三男	3
事務機器はどのように使われているか	尾沢 智彦	4
農協合併に関する質疑応答		6
接遇のあり方	藤井 博一	9

〔税 務〕

農協合併の税務	大沢 義一	1
農協法人税申告書の書き方	藤掛 一雄	2
農事組合法人の課税問題	農業法人研究会	8
農協の法人税に関する改正点の解説	藤掛 一雄	11

〔経 理〕

経営責任と会計責任	大沢 義一	1
農協における法人税会計処理の研究	甲村 正人	2

事業の多種性から強調されるもの	大沢 義一	3
経営組織からみた会計事務	大沢 義一	4
勘定組織の再編成	編集部	5
特別配当をめぐる	大沢 義一	5
農協の会計制度	星 三男	6
経営分析の有効性	大沢 義一	7
管理会計の基本問題	大沢 義一	9
ライスセンターの経理	甲斐 武至	10
農協の数字に強くなる方法	大沢 義一	10
会計事務に投げられた波紋(会計ニュース)		10

〔監 査〕

経営管理業務をみるカンどころ	斉藤 昭平	1
今後の監査にのぞむもの	篠原 春治	4

〔業 務〕

損害賠償と契約の解除	農協実務の法律研究会	1
農地信託契約書例の解説	田中 宏尚	3
購買事業運営の実際	伊藤 正三	3
いちご販売事業のすすめ方	河村 泰太	4
農協の契約栽培と契約販売	光岡 耕作	4
これからの農協店舗の運営		4
営農改善と農協経営	太田源一郎	5
農林漁業経営構造改善資金融通制度のあらまし	後藤 康夫	6
農協共済のニード推進方式	石川 勝巳	6
こうして進めた「生活設計普及運動」		6
発展めざす購買店舗	長谷川益人	6
農協店舗の経営分析の進め方	高橋 康夫	8
「文化購入品」貸付制度の実際	中野智恵子	8
少額貯蓄非課税制度と農協の実務	加藤 新也	9
実現した農地信託	本城 貞男	10
農協給食事業の実際	儘田 善夫	11
改正された有線放送電話関係法	橋口 守	12
営農指導員の実態と意見	金森 弘治	12

〔資格試験〕

農協職員資格試験演習		1~12
昭和38年度農協監査士資格試験問題解答		12

〔掲 示 板〕

37年度下期の農業観測	1
農事組合法人第1号誕生	1
生産者手取りは小売値の4割弱	1
養豚のシ尿で文化燃料	1
基地斗争にたちあがる農協	1
農業事故の実態	1
36年度の農業労賃	1
組合視察の心得	2
「特選米」を試食する	2
職員状況調査	2
補償金にむらがる白いアリ	2
37年3月末の単協概況	2
36年度の農業・農家の社会勘定	3
単協役員の概況	3
食肉輸送コンテナ	3
購買店舗の統一包装紙決まる	3
青年部農機具修理班発足	3
百発百中の私設気象台	3
農村にも強い消費ムード	3
農業白書の大要	4
37年度農業日本一さまる	4
農地信託規定認可の第一号	4
激減している外来輸入	4
ホクレンが輸入トラクターの一手販売	4
ヘリポートのある農協	4
農協へ模擬爆弾落下	4
初めて農協ができた	5
地方理髪店にピンチ	5
農地信託第一号	5
2号をもつ候補者はダメ	5
全国初の農学コンサルタント	5
親子そろって農高卒業	5
評判のよい農協趣味の会	5
北海道の農協デパート旋風	6
会議と懇親会	6
農協の組合自動車教室	6
進む農協の大型化	6
発足した地方農政局	7
農村は旅行ブーム	7
総合農協の合併状況	7

「1郡1農協」めざす和歌山県有田郡26農協	7
農協における不正事件	7
解放農地の宅地転売は合法	8
農家の「父子契約」	8
農協キャラバン隊	8
エラー・ノート	8
認められた果実酒の自家製造	8
農林省の今年度農業観測	8
農協タクシーお目見え	9
自動販売機で牛乳直売	9
全販で真空肉包装を直販	9
市場はゴミの季節	9
朝日農業賞の設定	9
ミコシをかつぐ耕耘機	10
ブタ肉記録の高値	10
滋賀の農業センター	10
手を結ぶ農林省と農協	10
農協専門ドロボーのアドバイス	11
キャベツの価格補償制度	11
岩手で農家防災保険	11
初の「全自動式」有線放送電話	11
生活合理化に黒板を	11
大型農機の賃貸会社	11
第2回農業祭の大要	11
豚コレラ全国的規模へ	11
肥料業者の農協への挑戦状	12
学校給食を受持つ農協	12
農協講習所生徒の農協観	12
農協合併推進標語	12
テレビに新登場の「農協劇場」	12
御婦人は科学に弱い	12
米の予約は戦後最高	12

